

100万人のキャンドルナイト 活動報告書

2003.6.22夏至

2003.12.22冬至

私たちは[100万人のキャンドルナイト]を呼びかけます。

2003年の夏至の日、6月22日夜、8時から10時の2時間、
みんなでいっせいに電気をけしましょう。

ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげるのもいいでしょう。
しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。
ある人は省エネを、ある人は平和を、
ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとのことを思いながら。

プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。

それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、
文明のもっと大きな可能性を発見するプロセスであると私たちは考えます。

一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、
ただ2時間、電気を消すことで、
ゆるやかにつながって「くらやみのウェーブ」を
地球上にひろげていきませんか。

2003年、6月22日、夏至の日。よる8時から10時。
でんきをけて、スローな夜を。
100万人のキャンドルナイト。

● 100万人のキャンドルナイト2003.6.22夏至 企画概要

2003年の夏至、6月22日の夜8時、全国で一斉に電気が消えました。東京タワーで、首里城で、NECで、洒落たカフェで、あの子の家で、電気を消してキャンドルをともし姿が見られました。「でんきを消して、スローな夜を」と呼びかけた「100万人のキャンドルナイト」。特筆すべきは、環境NGOが自発的にはじめた「草の根の呼びかけ」だったこと。154人の呼びかけ人と、300の賛同・後援団体が結果、推定参加者500万人を動かした一大イベントも、ひとりがひとりに呼びかけるところから始まった草の根環境ムーブメントでした。環境省も「100万人の環(わ)」という名前でも協力。施設の消灯を中心に呼びかけてくれました。NECやアサヒビールなどの企業も賛同し、対外的な告知や社員への参加呼びかけ等に協力してくれました。

・ 日時

2003年6月22日 夏至 20:00~22:00

・ よびかけ人代表

辻信一、藤田和芳、マエキタミヤコ、枝廣淳子、竹村真一、池田徹、立松和平

・ よびかけ人

坂本龍一、忌野清志郎、加藤登紀子、高木美保、倉本聡、大貫妙子、中村桂子、竹山聖、関野吉晴、最相葉月、稲本正、河名秀夫、高木善之、コリーヌ・ブレ、渡邊美樹、葛西薫、水野誠一、高野孟、鈴木寛、金子郁容、鎌田東二、今福龍太、西川りゅうじん、P.ハウレット、藤村靖之、大谷ゆみこ、本橋成一、川島直、高月紘、羽仁カンタ、南兵衛、増田寛也（岩手県知事）、浅野史郎（宮城県知事）、堂本暁子（千葉県知事）、木村良樹（和歌山県知事）、潮谷義子（熊本県知事） ほか

・ 全国の主要なライトアップ施設の消灯

東京タワー、フジテレビ、熊本城、首里城、明石大海峡大橋、横浜マリンタワーを筆頭に、全国各地の大きな施設も、この動きに賛同し、明かりを消しました。

● 日本全国で同時多発的に行われたイベント



■ 新月流水弧文（広島県尾道市）



■ 増上寺&東京タワー（東京都港区）



■ キャンドルナイトin清里（山梨県清里町）



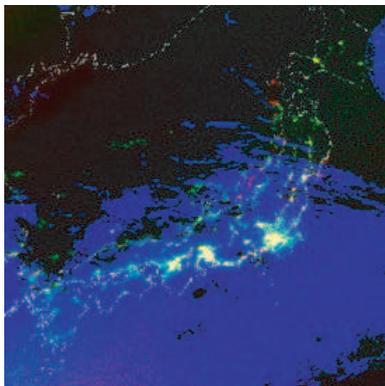
■ ピースローソク菊水町（熊本県菊水町）



■ 6.22とうろうピースナイト 広島（広島県広島市）

● インターネットを利用した試み

100万人のキャンドルナイトは、イベントの他にも各家庭やオフィスで行われる自発的なムーブメントです。2003年の夏至の日、6月22日夜、8時から10時の2時間みんなで暗闇を楽しむ意味は何かと考えました。この「同じとき」を感じることを、これを地域や世代を超えて体験共有することに最大の意味があり、それが未来につながる「種」になると考えました。そのためには、自分が一人ではなく、大きなムーブメントに参加しているという実感が得られること、みんなで感じる2時間を共有する仕組みが必要です。この実現にインターネットを最大限活用した仕組みを用意しました。



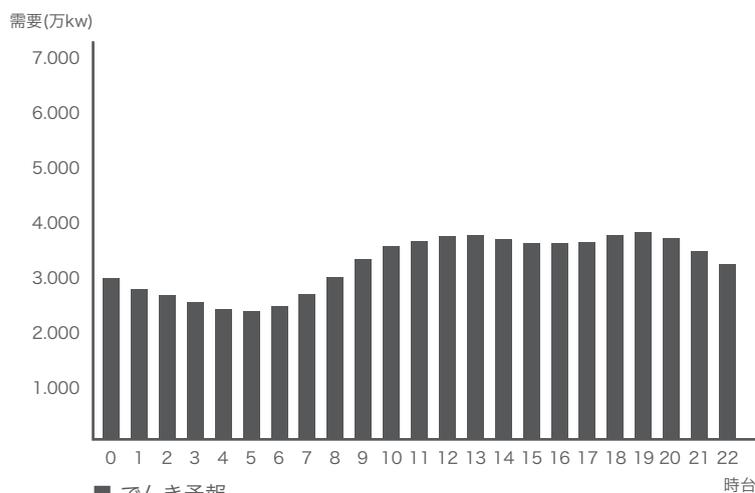
■ 宇宙からのキャンドルナイト
キャンドルナイトの時間帯に日本上空を飛ぶアメリカの軍事気象衛星DMSP (F-15)により、夜の日本列島を撮影してみました。日本上空の通過は、2003年6月22日(日) 20:25~20:38頃でした。



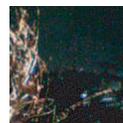
■ CandleScape

キャンドルナイトに参加する全国のさまざまな人々の思いを、もっとリアルなかたちで「可視化」する仕組みがキャンドルスケープです。

一人一人の自発的な参加が、大きな共感のコミュニティーを生みだしつつあるそうした「つながり」を目に見える形にしました。



実際の電気消費量に少しでも反映されるだろうか？
エネルギー消費というブラックボックスに対するこのような「可視性」のチャンネルを少しでも開いていくことが重要だと考え、このようなデータを掲示してみました。



20:03:50
六本木ヒルズにて。消えました…東京タワー。わかりますかね？



20:17:08
長いこと交流の途絶えてた、交換留学の相手に手紙を書いてみた



20:20:17
東京タワーの消灯を見届けて部屋に火をともし。夏の儚いにおいがして、せつない幸せを感じます。このおだやかなピースが世界をつつんでほしいです。



20:20:28
P o o hさんとロウソクを撮りました☆☆どれだけ省エネになってるのか気になります…(* *)....



20:27:53
夢を想う夜



20:44:08
付き合って1年半、同棲して8ヶ月の彼氏とキャンドルを灯しました。毎日の生活で『当たり前』になってしまう事が多かったと一緒に反省して、また『よろしくね』と笑いあいました。

■ あなたのキャンドルナイトを送ってください

20時~22時の間、あなたのキャンドルナイトをケータイカメラで撮影して送ってくださいとよびかけたところ、490人の方からさまざまなキャンドルナイトの光景が送られてきました。家族で過ごした人、恋人と過ごした人、仲間とイベントに行った人、お風呂に入りながら過ごした人、と十人十色なキャンドルナイトをみることができます。

● パブリシティ

環境NGOがリーダーシップをとりながら、一般の人を巻き込んだ日本初の大きなムーブメント・イベントとしていろいろなメディアに取り上げられました。

新聞

- 2003.05.13 毎日新聞 夕刊
夏至の夜、電気消そう 東京タワーや首里城も参加
- 2003.05.24 読売新聞
「夏至の夜は電気消そう」NGOなど2時間のスローライフ提言
- 2003.05.31 日本経済新聞 夕刊
グリーン通信 照明を消して考えること
- 2003.06.09 みやざき中央新聞
社説 面白そうだからやってみよう
- 2003.06.12 JAPAN TIMES
Light out for enlightenment
Candle Night planners wax lyrical over June 22 event
- 2003.06.14 東京新聞
電気消けの暮らし見直そう 夏至にキャンドルナイト
- 2003.06.16 中日新聞
ライトアップ 全国一斉消灯
- 2003.06.17 岐阜新聞
「キャンドルナイト」官民が連携 夏至の夜に消灯 県内でも広がる
- 2003.06.18 朝日新聞 夕刊
100万人のキャンドルナイトコンサート
- 2003.06.19 朝日新聞 夕刊
一斉消灯呼びかけ 清志郎らがライブ
- 2003.06.20 朝日新聞 (大阪)
夏至の夜の「消灯」ギャラリー・神社も
- 2003.06.21 朝日新聞
夏至の夜 ライトダウン 全国2000箇所省エネを訴え
- 2003.06.22 朝日新聞
広告特集 でんきをかけて、スローな夜を。
- 2003.06.23 ふれあい毎日
「省エネ生活」でスローライフを楽しむきっかけに！
- 2003.06.23 北海道新聞
明かり消して夏至の夜満喫
- 2003.06.23 中日新聞
灯を消して夏至の夜空
- 2003.06.23 西日本新聞
夏至の夜に環境と平和 全国2000箇所一斉に消灯
- 2003.06.23 東京新聞
全国でイベント 夏至の消灯 省エネ演習
- 2003.06.23 沖縄タイムス
闇に浮かぶ守礼門 夏至の夜に環境考え消灯
- 2003.06.23 岐阜新聞
ネオンを離れて… 「省エネ」「スローライフ」を考える
- 2003.06.23 琉球新報
消灯しエネルギー問題考える 全国でイベント 首里城も闇に
- 2003.06.23 信濃毎日新聞
闇に明かりに思い込め 夏至の夜県内など消灯イベント



■ 毎日新聞 2003年6月23日 朝刊



■ NHK 2003年6月23日 おはよう日本

テレビ

- 2003.06.19 JFN (全国24局放送)
「ヒルサイドアベニュー」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.22 NHK午後8:45～ニュース
施設のライトダウン
- 2003.06.22 テレビ朝日午後8:55～ニュース
施設のライトダウン
- 2003.06.23 読売テレビ
「ニューススクランブル」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.23 TBS
「はなまるマーケット」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.23 日本テレビ
「ザ ワイド」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.23 テレビ朝日
「スーパーJチャンネル」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.23 NHK
「おはようニッポン」 夏至のキャンドルナイト
- 2003.06.23 テレビ朝日
「ニュースステーション」 施設のライトダウン

ラジオ

- 2003.05.22 岐阜FM 「モーニングバード」
100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.13 J-WAVE
「グッドモーニングTOKYO」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.17 AMラジオこうべ
100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.18 熊本コミュニティFM[FM791]
100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.19 大阪みのおFM
「タッキー地球レポート」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.19 FM岡山
100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.20 J-WAVE
「グッドモーニングTOKYO」 100万人のキャンドルナイト
- 2003.06.23ラジオ 「マーケットプレイス」(アメリカで放送)
100万人のキャンドルナイト

● 100万人のキャンドルナイト2003.12.22冬至 企画概要

2003年の12月22日の夜8時、一年の中でもっとも夜の長い冬至の日に、ふたたびスローな夜を過ごしました。冬至は各家庭やオフィスでの自主的な実施を念頭において実施しましたが、全国18都道府県、38カ所でも同時にイベントが行われ、東京都渋谷区の表参道から渋谷駅までの全長約500メートルの通称「キャットストリート」では、武蔵野美術大学や多摩美術大学の学生達が1000個のろうソクを使い、さまざまな「キャンドルアート」をつくりあげ、また渋谷駅近くの渋谷川では、川を蘇らせようというNPO団体「渋谷川ルネッサンス」が、竹灯籠を川沿いに並べ、春の小川をライトアップしました。

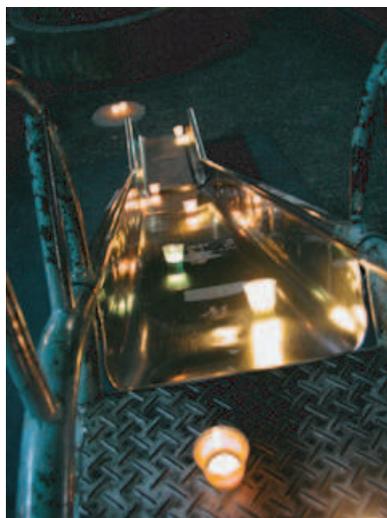
・ 日時

2003年12月22日 冬至 20:00～22:00

・ よびかけ人代表

辻信一、藤田和芳、前北美弥子、枝廣淳子、竹村真一、池田徹、立松和平

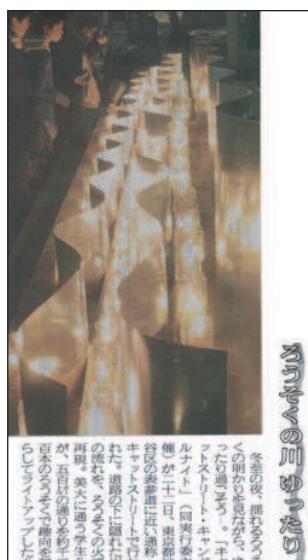
● 日本全国で同時多発的に行われたイベント



● パブリシティ



■ 東京新聞 2003年12月23日



■ 産経新聞 2003年12月23日



■ 朝日新聞 2003年12月23日